

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-III-6

4-III-6

| | | | | |
|------------|---|------------|------|--|
| 章 | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 | | 取組項目 | 危機管理体制の整備 |
| | 節 | Ⅲ. 安全対策の徹底 | | |
| 事業(施策)名 | 6 危機管理対応マニュアル作成の促進 | | 事業主体 | 佐渡市世界遺産推進課、防災管財課 |
| | 事業実施期間 | H28～R4 | | 関連団体 佐渡地域振興局地域整備部、佐渡西警察署、佐渡東警察署、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市市民生活課、佐渡市消防本部 |
| 事業概要 | <p>【事業目的】 ○危機管理対応マニュアルの整備により、来訪者の事故・疾病や災害発生時等不測の事態への対応を図る。</p> <p>【事業内容】 ○様々な事態を想定した危機管理対応マニュアルの整備とその適切な運用を図る。</p> | | | |
| ③0 事業計画と実績 | <p>【30年度計画】 ●世界遺産登録に向けた来訪者対策として、相川周辺の地域及び公共施設の避難マニュアルを早急に整備する必要があり、関係団体に整備への周知を図る。</p> <p>【30年度実績】 ●佐渡金銀山ガイダンス施設の緊急時避難マニュアルを作成した。</p> | | | |
| 課題・今後の取組 | <p>【課題】 ■市民や来訪者への安全対策として相川市街地は道が狭いため、津波地震、火災時等の避難については、地域の実情を把握した上でマニュアルに反映させる必要がある。 ■近隣の施設を所管する関係団体との連携を密に行う必要がある。</p> <p>【今後の取組】 ■ガイダンス施設運用に伴い、緊急時に適切かつ効果的な避難誘導ができるよう、緊急時避難マニュアルの職員や関係者への周知徹底を図る。</p> | | | |
| 事業評価 | <p>【事業の達成度】 ◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [a・b・c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a・b・c]</p> <p>【総合評価】 [A・B・C]</p> | | | |

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。